

SOPHIA UNIVERSITY NEWS

2026
APRIL
4月1日発行

PARENTS' ASSOCIATION

上智大学後援会は、1973年に父母・保証人の有志が設立した団体で、今年で54年目を迎えました。当時、大学が海外の寄付に頼って施設を整備していたことやイエズス会所属の先生方が最低限の生活費を除いた全給与を大学に寄付していることを知り、その想いに共鳴したことがきっかけです。以来、寄付の累計額は75億円を超え、奨学金の給付等様々な用途に役立てられています。



ご挨拶



上智大学後援会会長
齊藤 敏明

今年もまた、上智大学では多くのソフィアンを新たに迎え、キャンパスは活気に満ち溢れています。私たち父母・保証人にとって、日々成長する我が子の姿を見ることは大きな喜びである一方、学業への取組や将来の進路、生活面など心配も尽きないことと存じます。すべての学生にとって上智大学での生活が実り多く有意義なものとなることを願うばかりです。上智大学後援会は、このような想いを一つに結び、大学の教育研究環境の改善や学生の学びに対する各種援助等、さまざまな支援を行ってまいりました。皆様からお寄せいただいた温かい御支援が、学生一人ひとりの学びや成長を後押しする大きな力となっており、本年度も大学と緊密な連携を図りながら、学生が安心して学べる環境づくりに取り組んでまいります。

このような活動に加え、会員相互の親睦も本会の重要な活動の柱です。春と秋には大学の先生方をお招きしての懇親会や各種講演会を開催するなど、父母・保証人自らも「大学を身近に感じ、楽しんでいただく」機会を設けています。

本会は、父母・保証人の皆様による任意の参加によって成り立つ組織であり、その活動はひとえに、学生の学びと成長を願う皆様の善意によって支えられています。多くの皆様に本会活動に御参加いただくことで、支援の輪はさらに大きく広がります。引き続きの御理解と御支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



上智大学後援会

FOR OTHERS,
WITH OTHERS

日々の学び、大学生活を支える

～世界へ羽ばたくその日まで～

教育環境
の充実

父母・保証人
の支え

修学援助

学生生活
支援

2025年度後援会の支援事業(報告)

○ キャンパスをより快適に使いやすく

■WEB面接用ボックス「テレキューブ」設置費用補助

就職活動でのオンライン選考の定着化を踏まえ、キャリアセンター内にテレキューブ3台を設置する費用を補助しました。スキマ時間に自身のデバイス1つでWEB面接を受けることができ、多くの学生から大変好評を得ています。



○ 経済的な不安なく学びに集中するために

■上智大学後援会奨学基金

2018年度から基金化し、2025年度は96万円を組み入れました。基金の運用果実を活用し、後援会奨学金の安定的な給付を目指しています。(基金累計額:6,096万円)

■上智大学後援会奨学金

成績優秀かつ経済的に困窮している学生40人に1人あたり10万円の奨学金を給付しています。

Message 後援会奨学生からの感謝のメッセージ

総合グローバル学部
総合グローバル学科

この度は「上智大学後援会奨学金」の奨学生としてご採用いただき、誠にありがとうございます。近年、親の退職で家計が変化し、学業継続に不安を感じておりました。しかし、現在は、後援会の皆様をはじめ多くの方にご支援いただいたおかげで、安心して勉学に励むことができいております。私は総合グローバル学部にも所属しており、国際関係論を専攻としながら日々国際協力や国際開発に関する学びを深めております。上智大学の恵まれた学習環境と先生方の温かなご指導のもと、多様な背景を持った学生とグローバルな諸課題について学べることに心より感謝しております。皆様からの温かいご支援心よりお礼申し上げます。

総合人間科学部
看護学科

この度は、「上智大学後援会奨学金」の奨学生として採用していただき、心より御礼申し上げます。私の家庭は両親ともにパート労働者のため、学費に加え看護実習での交通費、必要物品費など様々な出費が負担となっています。さらに、長期に及ぶ実習によりアルバイトでの収入が減少してしまうため、経済的な不安を抱えておりました。将来は看護での専門的な知識を活かしながら、子どもが健康で安全に安心して学習することを支援することができる養護教諭を志しております。そのため、実習における現場での経験や学びを経済的に心配なく深めることができること、将来に向けて日々勉強ができること、改めて後援会の皆様に感謝の気持ちを申し上げます。

留学生

理工学部
機能創造理工学科

この度は「上智大学後援会奨学金」の奨学生として採用していただき、心より御礼申し上げます。私の家庭は母国でごく質素な暮らしをしており、日本での学費や生活費を十分に支援してもらうことが難しい状況にあるため、この度のご支援は大変大きな助けとなり、深く感謝申し上げます。私は理工学部機能創造理工学科にも所属しており、特に航空宇宙工学や自動車工学の分野に強い関心を抱いております。将来は研究職やテクノロジーコンサルティングの分野に進み、社会の発展に貢献できる技術者を目指しております。今回の奨学金を励みに、これまで以上に学業に専念し、知識と経験を積んでまいります。改めまして、後援会の皆様に厚く御礼申し上げます。

■上智大学後援会派遣留学生奨学金

意欲が高いにも関わらず、経済的理由によって留学が困難と認められる学生若干名に対し、留学や海外プログラム参加費用の一部を奨学金として給付しました。

■留学カウンセラー・英語学習アドバイザー配置費用補助

留学相談や言語学習援助を行う専門カウンセラーの配置費用を補助しました。



■美術館・博物館等利用特典制度年会費補助

東京国立博物館、国立科学博物館、国立美術館などを割引料金または無料で利用できる利用特典制度の年会費を補助しました。

■学部生向け基本図書・教養書の購入

学生・職員が選んだ473冊の図書購入費用を支援しました。うち187冊は学生投票の結果選ばれました。

○ 安心安全で豊かな学生生活を送るために

■ 課外活動への助成

2008年より特定のテーマに合致する課外活動団体に助成金を贈呈しています。2025年度は「特定地域の文化継承または魅力発信に尽力する団体」として、下記5団体に各10万円を贈呈しました。



2025年度助成金贈呈式▶

Message
受賞団体からの
メッセージ



A ASANTE PROJECT

当団体は、タンザニアに対する教育支援とアフリカ諸国の魅力発信を目的に活動しています。今回頂いた助成金は、第16回タンザニア渡航時に、支援先幼稚園のフェンス及びキッチン建設に活用いたします。今後も現地のニーズを最優先に、学生としてできる支援を模索し続けるとともに、日本国内でタンザニアやアフリカの魅力発信にも取り組んでまいります。

B 中南米研究会

当団体ではサンバを中心にブラジル音楽を演奏しています。助成金は、老朽化していたPA機材の新調に充当いたしました。よりよい音をお届けできるようになり、大変嬉しく思っております。ブラジル音楽・文化の魅力をより広く発信するため、今後も活動に励んでまいります。まずは大学構内でのサンバパレード実現を目指します！

C Deutscher Ring

当団体は、日独交流を主軸に、ドイツ語やドイツ文化に関するイベントを開催してきました。ドイツ語スピーチコンテストや文化交流イベントを通じ、語学力の向上と多様な価値観に触れる機会を創出しています。今回頂いた助成金は、コンテストの賞金、交流事業の運営費に活用させていただきます。今後も日独をつなぐ継続的な交流の場を発展させてまいります。

D SAfro FAMily

当団体は、コンテンポラリーゴスペルを歌うサークルでワンマンライブ開催に向け日々活動しています。いただいた助成金は、機材の更新やライブ制作に活用し、より質の高い音楽を届ける環境づくりに役立てます。今後もゴスペルを通して交流と笑顔を生む場の創出に励んでまいります。

E ロシア語学科サークルДорога(ダローガ)

当団体では、主にロシア語学科生および第二外国語としてロシア語を学ぶ学生を対象に、定期的に勉強会を開催し、学年や学科を超えた学びや絆を深めることを目的として活動しています。今回ご支援いただいた助成金は、ロシア料理の食事会の実施費用およびソフィア祭における展示物購入費として大切に活用させていただく予定です。

■ 学生電話健康相談サービス導入費補助

学生の心身の健康をサポートするため、多言語対応の電話健康相談サービスの導入費を補助しました。24時間365日電話で医師や看護師などに相談でき、医療機関の紹介や心身の健康に関するアドバイスを受けることができます。

■ 100円朝食・昼食オフピーク 割引料金補助

朝食を100円で食べることができる「100円朝食」やお昼休み後の時間帯に割引価格で提供する「オフピークランチ」の料金補助をしました。
(※四谷キャンパスのみ)



■ 目白聖母キャンパス昼食費購入補助

食堂のない目白聖母キャンパスにて、パンの出張販売や実店舗での購入割引制度を導入し、学生がより安価で購入できるよう補助しました。

後援会の 各種特典

■上智地球市民講座を割引料金で受講できます

2025年度は多くの後援会会員の皆様にご受講いただきました。お申込みの際に後援会会員情報をご入力ください。詳細は上智地球市民講座ウェブサイトをご確認ください。

上智地球市民講座HP <https://sgcp.sophia.ac.jp/>



地球に生きる
市民として、
自らの生き方を
自らデザインする

対象
社会人、大学生、
高校生はじめての方

後援会会員は割引有

■本学図書館が利用できます

四谷キャンパス中央図書館と目白聖母キャンパス図書室にて、図書の閲覧ができます。ご入館の際は、受付にて後援会の会員証をご提示ください。

※開館日時等の詳細は、上智大学図書館ウェブサイトをご覧ください。

■上智大学・上智大学ソフィア会(同窓会) 共催講演会の聴講ができます

大学と同窓会(卒業生団体「ソフィア会」)が共催の講演会に、後援会会員枠にて聴講できます。開催情報につきましては、後援会ウェブサイト「後援会News」をご確認ください。

■提携ホテルの宿泊が優待料金で利用できます

ホテルニューオータニ東京、京阪グループホテル、ハートンホテル北梅田(大阪)、東急ステイを優待料金で利用できます。予約方法・詳細は入会後にご案内の会員限定ウェブサイトよりご確認ください、ホテルをご利用の際は、後援会の会員証を携帯くださいますようお願いいたします。

■サンマルクカフェ四ツ谷駅前店の商品を 1割引で購入できます

会計の際、後援会の会員証をご提示ください。

■日本製鉄紀尾井ホール公演チケットを 1割引で購入できます

チケット購入方法・詳細につきましては、ご入会後にご案内の会員限定ウェブサイトをご参照ください。(※日本製鉄文化財団主催公演のみ対象)

入会特典



▶オリジナル
トートバッグ

ご入会いただいた方全員に、学生職員が制作した後援会オリジナルトートバッグを進呈いたします。また、入会時に会費を一括で納入いただいた方には、大学エンブレム入り袱紗を進呈しています。

▶袱紗

リニューアル
しました

Topics

■2026年度地域懇談会について

本学では、毎年、全国各地で大学主催の地域懇談会を開催し、父母・保証人の皆様に大学の近況や学業、就職、留学などについてご説明しています。この地域懇談会には、後援会の役員も出席し、本会の活動をご紹介します。

2026年度は6月7日、6月28日、7月12日に四谷キャンパスにおいて、また地方都市10会場での開催を予定しています。詳細は大学から郵送される開催通知や大学のウェブサイトでご確認ください。

後援会会員の懇親会について

春と秋に開催している懇親会では、会員同士や理事長・学長をはじめとした教員との交流を通じて親睦を深めています。同日に教員による講演会や会員限定企画も開催しており、2026年度も皆様のご参加を心よりお待ちしております。

■2026年度後援会の主な行事(予定)

4月1日(水)	新入会員歓迎会	四谷キャンパス
5月23日(土)	総会、講演会、懇親会	
11月14日(土)	秋の懇親会、 課外活動団体贈呈式 など	

上記のほか、各学年・学部より1名の方に幹事にご就任いただき、年4回実施する幹事会にて、後援会の各種行事や学生への支援事業などについて審議しています。

皆様のご来場を
お待ちしております

上智大学後援会事務局

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 学校法人上智学院 総務局ソフィア連携室内
TEL. 03-3238-3127 E-mail: d-kouenkai-co@sophia.ac.jp
(平日10:00~16:00 ただし11:30~12:30を除く)

上智大学後援会のウェブサイトでは、後援会に関する様々な情報を掲載しています。是非、ご覧ください。

<https://piloti.sophia.ac.jp/jpn/guarantors/parents/>

